



令和 4 年 4 月 2 7 日（水）
国土交通省関東地方整備局
長野国道事務所

記者発表資料

令和 4 年度 長野国道事務所の事業概要

～国道 1 9 号塩尻^{しおじり}拡幅を新規事業化、長野 1 9 号防災^{ながの}事業においてトンネル工事を推進～

長野国道事務所では、国民の生活を支え、生産性を向上し成長力の底上げと地方創生に向けた、ストック効果を重視した社会資本整備を推進します。特に近年激甚化・頻発化する風水害や、地震災害に屈しない強靱な国土づくりのため、防災・減災、国土強靱化を強力に推進します。

令和 4 年度は約 1 2 4 億円（維持管理費（公園含む）、調査費等を除く）の事業費をもって、事業を実施します。

《 主な事業内容 》

■国道 1 9 号塩尻^{しおじり}拡幅

- ・塩尻市^{しおじり}広丘高出^{ひろおかたかいで}から塩尻市^{しおじり}広丘野村^{ひろおかのむら}までの延長 3. 3 km について、新たに拡幅事業に着手し、調査設計、用地買収を推進します。

■国道 1 9 号長野^{ながの} 1 9 号防災^{さんせいじ}（山清路地区）

- ・東筑摩郡生坂村^{ひがしちくま}下生坂^{いくさか}から大町市^{しもしくさか}八坂瀬口^{おおまち}までの延長 3. 6 km について、調査設計、改良工事及びトンネル工事を実施するとともに、山清路 2 号トンネル工事に着手します。

■国道 1 8 号青木島町^{あおきじままち}電線共同溝

- ・長野市^{ながの}青木島町^{あおきじま}の延長約 2. 7 km について、新たに電線共同溝事業に着手します。

< 道路調査 >

- ・中部横断自動車道^{ちゅうぶ} 長坂^{ながさか}～八千穂^{やちほ}、国道 2 0 号諏訪^{すま}バイパスについて、事業化に向け、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施します。

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ 長野県庁会見場	神奈川建設記者会 長野市政記者クラブ	長野市政記者会
問い合わせ先		
国土交通省関東地方整備局長野国道事務所 電話 0 2 6 - 2 6 4 - 7 0 0 1（代）		
副所長 計画課長	関口 広喜（せきぐち ひろき） 町田 浩章（まちだ ひろあき）	

令和4年度 長野国道事務所 事業費

(単位：百万円)

事業名			事業費
改築事業			10,421
	国道18号	上田バイパス（延伸）	1,322
	国道18号	坂城更埴バイパス（坂城町区間）	800
	国道18号	坂城更埴バイパス（延伸）	1,590
	国道18号	長野東バイパス	396
	国道18号	野尻IC関連	100
	国道19号	塩尻拡幅	50
	国道19号	松本拡幅	770
	国道19号	長野19号防災	585
	国道20号	坂室バイパス	162
	国道20号	下諏訪岡谷バイパス	2,239
	国道158号	松本波田道路	1,900
	国道158号	奈川渡改良	507
交通安全事業	国道18号	軽井沢町迫分歩道整備 他	1,931
	国道19号	安曇野市明科駅前歩道整備 他	
	国道20号	下諏訪町富士見橋歩道整備 他	
電線共同溝事業	国道18号	青木島町電線共同溝	50
合 計			12,402

※上記のほか、維持管理費（公園含む）、調査費等がある。

事業概要

1) 高規格幹線道路の整備推進

●中部縦貫自動車道

①松本波田道路(松本市島立～松本市波田:延長5.3km)

調査設計、埋蔵文化財調査、用地買収、改良工事、橋梁上部工事を推進します。

2) バイパス等の整備推進

●国道18号

①上田バイパス(延伸)(東御市本海野～上田市大字国分:延長4.1km)

調査設計、用地買収、改良工事、橋梁上部工事を推進します。

②坂城更埴バイパス(坂城町区間)(埴科郡坂城町南条～埴科郡坂城町上五明:延長3.8km)

調査設計、埋蔵文化財調査、用地買収、改良工事を推進します。

③坂城更埴バイパス(延伸)(千曲市稲荷山～長野市篠ノ井塩崎:延長2.6km)

調査設計、改良工事を推進します。

④長野東バイパス(長野市北長池～長野市柳原:延長2.8km)

調査設計、用地買収、改良工事、舗装工事を推進します。

⑤野尻IC関連(上水内郡信濃町古間～上水内郡信濃町野尻:延長8.7km)

調査設計、用地買収、環境整備を推進します。

●国道19号

⑥塩尻拡幅(塩尻市広丘高出～塩尻市広丘野村:延長3.3km)

今年度より新規事業着手し、調査設計、用地買収を推進します。

⑦松本拡幅(松本市渚～松本市宮渚本村:延長1.6km)

調査設計、用地買収、橋梁下部工事を推進します。

⑧長野19号防災(東筑摩郡生坂村下生坂～大町市八坂瀬口、長野市篠ノ井山布施:延長4.5km)

調査設計、改良工事、トンネル工事を推進します。

●国道20号

⑨坂室バイパス(茅野市金沢～茅野市宮川:延長3.7km)

調査設計、用地買収、環境整備を推進します。

⑩下諏訪岡谷バイパス(諏訪郡下諏訪町東町～岡谷市今井:延長5.4km)

調査設計、用地買収、トンネル工事、橋梁下部工事を推進します。

●国道158号(権限代行)

⑪奈川渡改良(松本市奈川～松本市安曇:延長2.2km)

調査設計、改良工事、舗装工事、トンネル工事を推進します。

3)道路調査

中部横断自動車道

①長坂～八千穂

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施します。

国道20号

②諏訪バイパス

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施します。

4)道路施設の老朽化対策

- ①道路施設(トンネル、橋梁、舗装、法面・盛土・擁壁、道路附属物等)を定期的に点検し、必要な補修を行うことにより、安全で円滑な交通を確保していきます。

5)道路の維持管理

- ①適切な管理水準による効率的な維持管理を行い、道路を良好な状態に保つとともに、安全で円滑な交通を確保していきます。
- ②冬期については、関係機関と連携を図り、除雪や凍結防止作業等を実施し、車輛滞留の抑制を図り、安全で円滑な交通を確保していきます。

6) 交通安全対策の推進

- ①「長野県事故ゼロプラン」に基づき、国道18号軽井沢町追分歩道整備事業や国道19号あずみのあかしな安曇野市明科駅前歩道整備事業、国道20号しもすわふじみ下諏訪町富士見橋歩道整備事業等を推進します。
- ②道路標識、区画線、防護柵設置等の交通安全対策を行います。

7) 無電柱化対策の推進

- ①災害の防止、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、国道18号青木あおき島町電線共同溝整備事業を推進します。

8) 国営アルプスあづみの公園の維持管理

①公園運営維持管理

公園施設の長寿命化及び安全・快適な公園利用のため、効率的かつ適正に施設修繕と運営維持管理を行います。

②施設修繕

ほりがねほたか堀金・穂高地区及びおおまちまつかわ大町・松川地区における老朽化対策として、受水槽の更新を実施します。

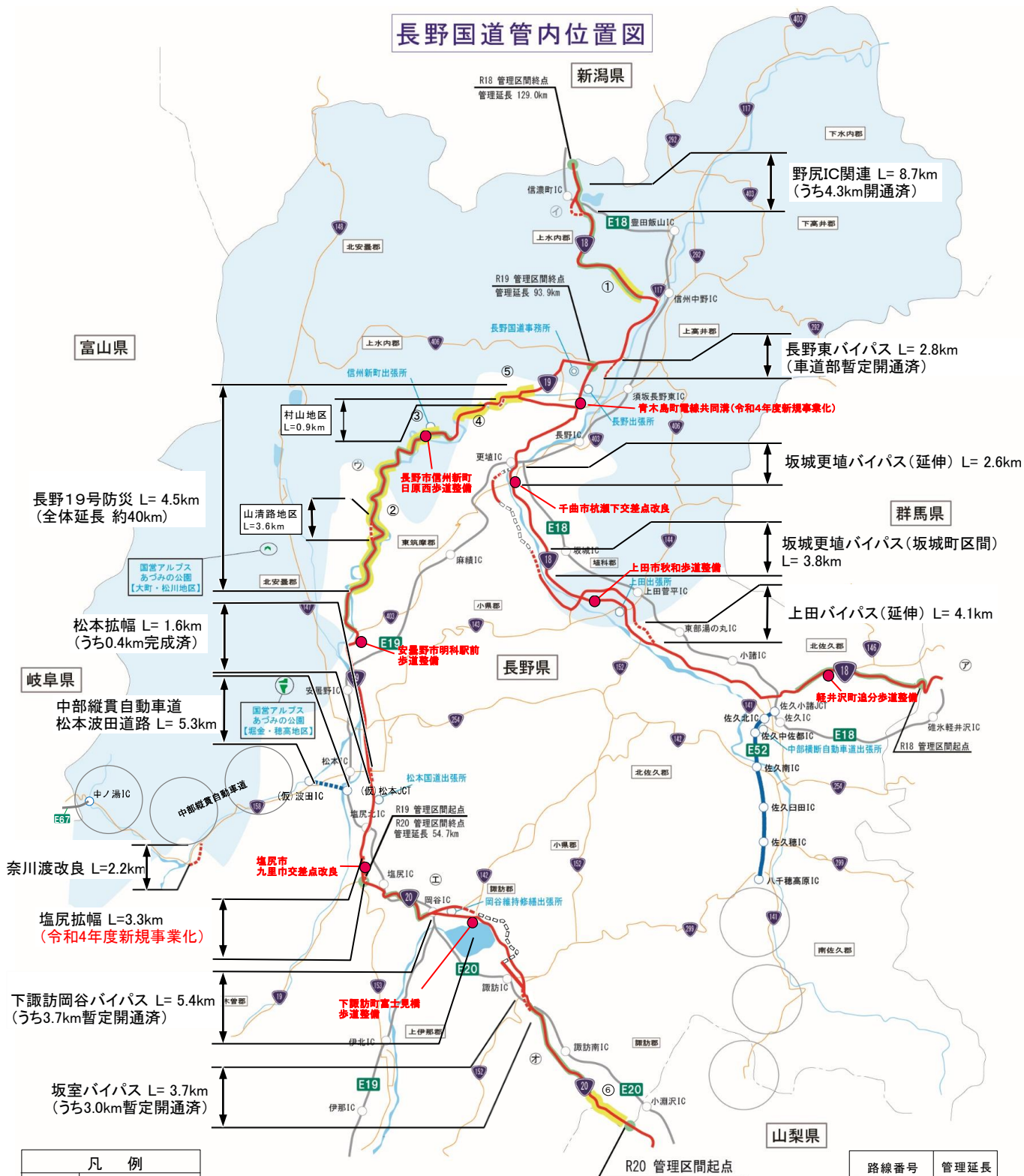
③施設点検

公園施設を定期的に点検することにより、安全で快適な公園施設を維持するとともに第三者への被害防止を図ります。

④安全対策

大型哺乳類(クマ)への安全対策として、公園周辺で行動するクマの調査及び園内への侵入状況を把握するためのセンサーカメラの設置を実施します。

長野国道管内位置図



凡 例	
	直轄高速（管理区間）
	国道（管理区間）
	高速自動車道
	地方道
 	国道事務所・出張所
	特別豪雪・豪雪地帯
	事前通行規制区間
	予防の通行規制区間

予防的通行 規制区間	路線名	規制箇所	延長
㊦	18	軽井沢バイパス	33.6
㊧	18	野尻地区	23.7
㊨	19	生坂地区	33.4
㊩	20	塩尻地区	9.1
㊪	20	富士見地区	41.6

事前進行 規制区間	路線名	規制箇所	延長	規制条件
①	18	川平	2	連続雨量 150mm以上
②	19	野平	17.7	連続雨量 130mm以上
③	19	日原	2.3	連続雨量 130mm以上
④	19	水内	8.7	連続雨量 130mm以上
⑤	19	秋古	3.5	連続雨量 130mm以上
⑥	20	富士見	7.7	連続雨量 150mm以上

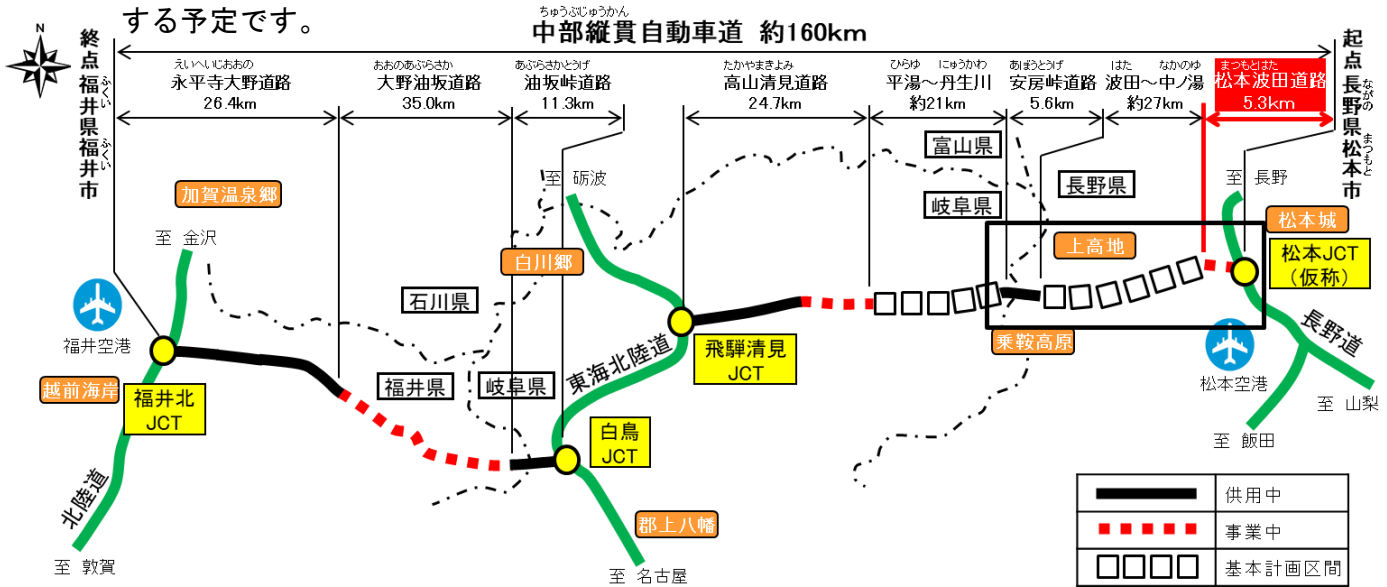
路線番号	管理延長
中部横断	22.6
R18	113.2
R18BP	18.2
R19	87.0
R19BP	6.9
R20	48.6
R20BP	6.1
	302.6

事業の概要

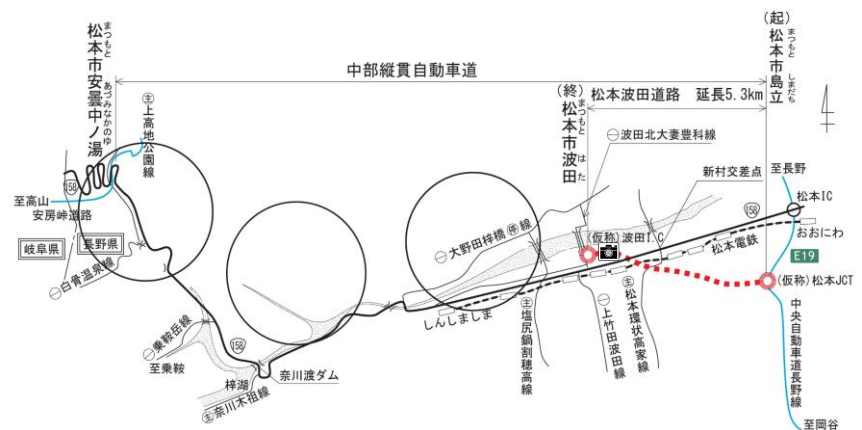
国道１５８号松本波田道路は、中部縦貫自動車道の一部として広域ネットワークの形成、国道１５８号の交通渋滞の緩和などを目的として計画された松本市島立から同市波田までの延長５．３ｋｍの道路事業です。

令和4年度予定

○令和４年度は、調査設計、埋蔵文化財調査、用地買収、改良工事及び橋梁上部工事を実施する予定です。



はた 波田地区の工事状況



事業の効果

- ちゅうぶじゅうかん中部縦貫自動車道の整備により、ながの長野自動車道・とうかいほくりく東海北陸自動車道・ほくりく北陸自動車道を結ぶ高速交通ネットワークが形成され、都市間の所要時間の短縮が期待されます。
- 首都圏や中京圏、北陸圏が被災した際の代替路や広域的な救護、救援物資輸送ルートとしても機能します。
- まつもととはた松本波田道路の整備により、搬送時間の短縮による救命率向上が期待されます。

う え だ

【長野県】直轄

事業の概要

うえだ

う え だ

とうみ

もとうんの

うえだ

22

令和4年度予定

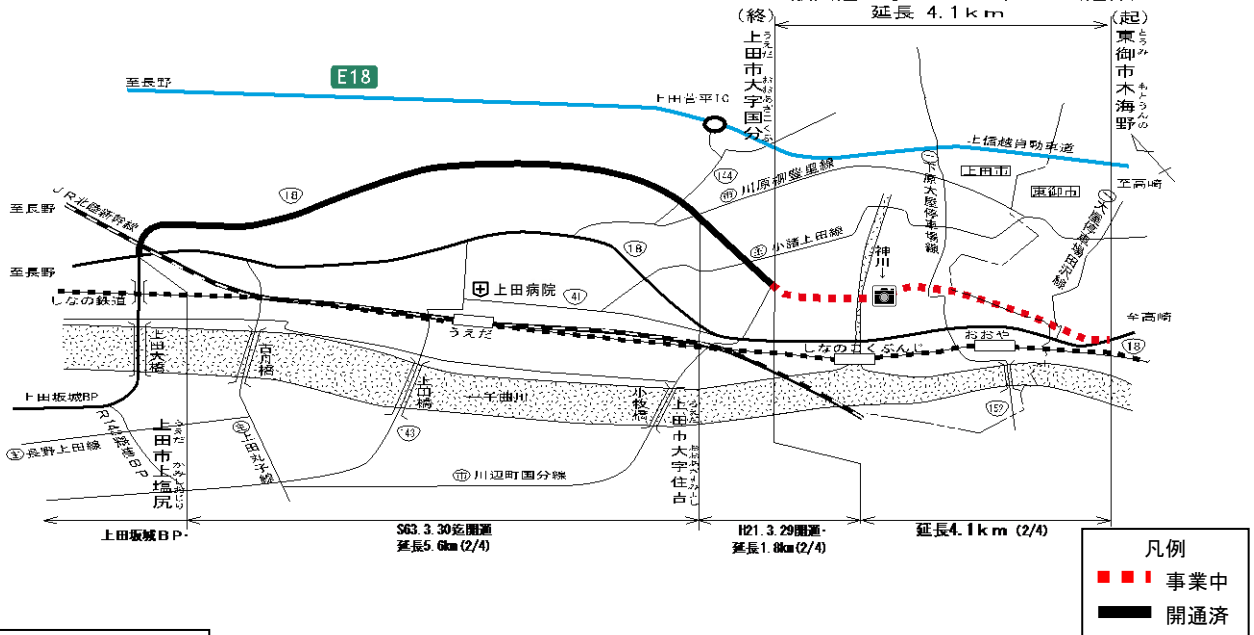
○令和４年度は、調査設計、用地買収、改良工事及び橋梁上部工事を実施する予定です。



上田市蒼久保地区の工事状況

一般国道18号 ^{うえた}上田バイパス（延伸）

延長 4.1 km



事業の効果

○国道１８号（現道）から交通転換が図られ、交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。

う え だ

国道18号 坂城更埴バイパス(坂城町区間)

R4年度事業費:8.0億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道18号坂城更埴バイパス(坂城町区間)は、坂城町市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、埴科郡坂城町南条から同町上五明までの延長3.8kmのバイパス事業です。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計、埋蔵文化財調査、用地買収及び改良工事を実施する予定です。



坂城町網掛地区の工事状況



事業の効果

- 国道18号(現道)から交通転換が図られ、交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。
- 第二次救急医療施設である、篠ノ井総合病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

国道18号 坂城更埴バイパス(延伸)

R4年度事業費:15.9億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道18号坂城更埴バイパス(延伸)は、千曲市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、千曲市稲荷山から長野市篠ノ井塩崎までの延長2.6kmのバイパス事業です。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計及び改良工事を実施する予定です。



長野市塩崎地区の工事状況

事業の効果

○国道18号(現道)から交通転換が図られ、交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。

○第二次救急医療施設である、篠ノ井総合病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

ながのひがし
国道18号 長野東バイパス

R4年度事業費:3.96億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道18号^{ながのひがし}長野東バイパスは、^{ながの}長野市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、^{ながの}長野市北長池から^{きたながいけ}同市柳原までの延長2.8kmのバイパス事業です。

このうち、車道部について、令和3年3月に全線開通済です。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計、用地買収、改良工事及び舗装工事を実施する予定です。



ながの やなぎはら
長野市柳原地区の整備状況



事業の効果

○国道18号（現道）から交通転換が図られ、交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。

○第三次救急医療施設である、^{ながの}長野赤十字病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

国道18号 野尻IC関連

R4年度事業費:1.0億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道18号野尻IC関連は、野尻湖周辺の観光交通による交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、上水内郡信濃町古間から同町野尻までの延長8.7kmのバイパス事業です。

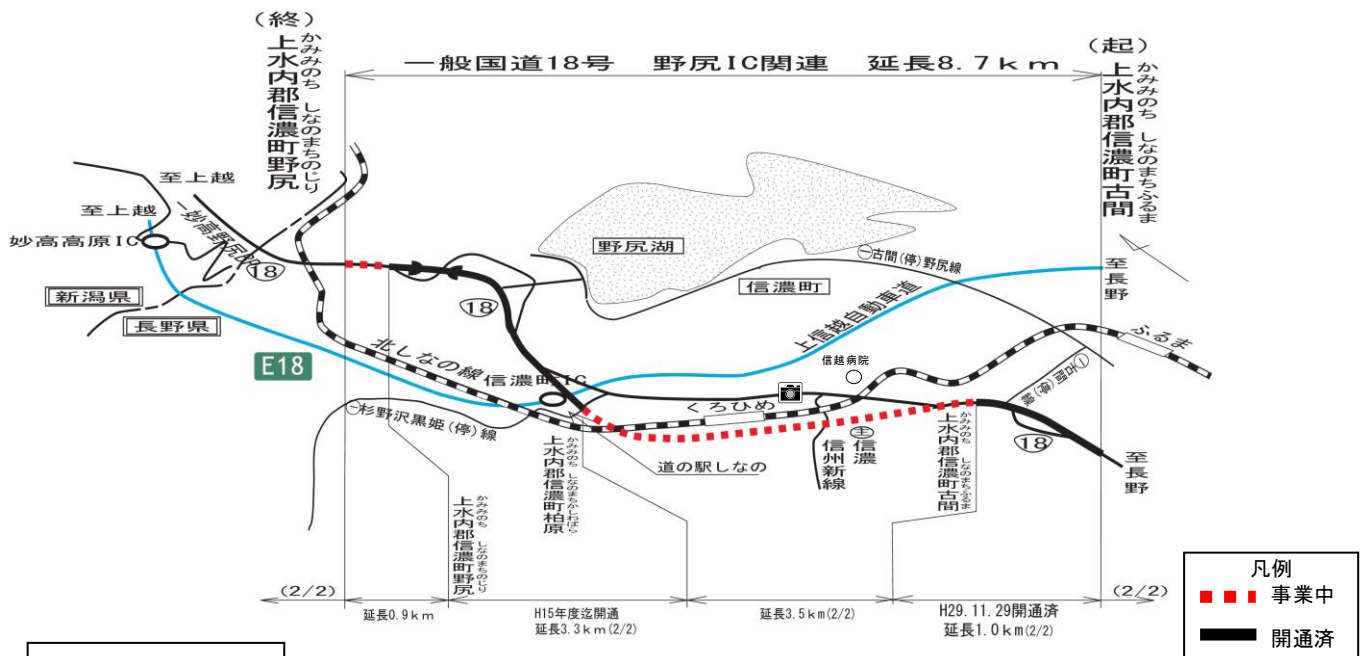
このうち、上水内郡信濃町古間地先及び上水内郡信濃町柏原から同町野尻までの延長4.3kmについて平成29年11月までに開通済です。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計、環境整備を実施するとともに、古間地区の用地買収に着手する予定です。



国道18号野尻湖周辺の渋滞状況



事業の効果

○国道18号（現道）から交通転換が図られ、交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。

○第二次救急医療施設である、信越病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

国道19号 塩尻拡幅

令和4年度新規事業

R4年度事業費:0.5億円

【長野県】直轄

事業の概要

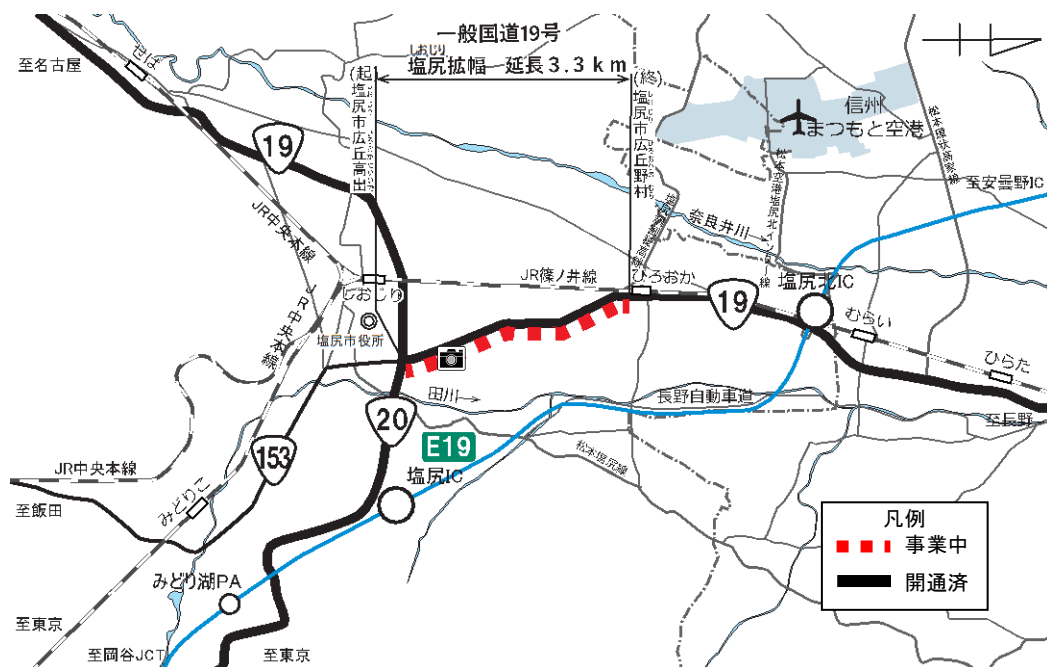
国道19号塩尻拡幅は、塩尻市内の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、塩尻市広丘高出から同市広丘野村までの延長3.3kmの現道拡幅事業です。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計及び用地買収を実施する予定です。



国道19号芝茶屋交差点付近の渋滞状況



事業の効果

○国道19号の拡幅により交通の円滑化が図られ、交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。

○狭隘な歩道の解消により、通学児童等の安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

国道19号 松本拡幅

R4年度事業費:7.7億円
【長野県】直轄

事業の概要

国道19号松本拡幅は、松本市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、松本市渚から同市宮淵本村までの延長1.6kmの現道拡幅事業です。

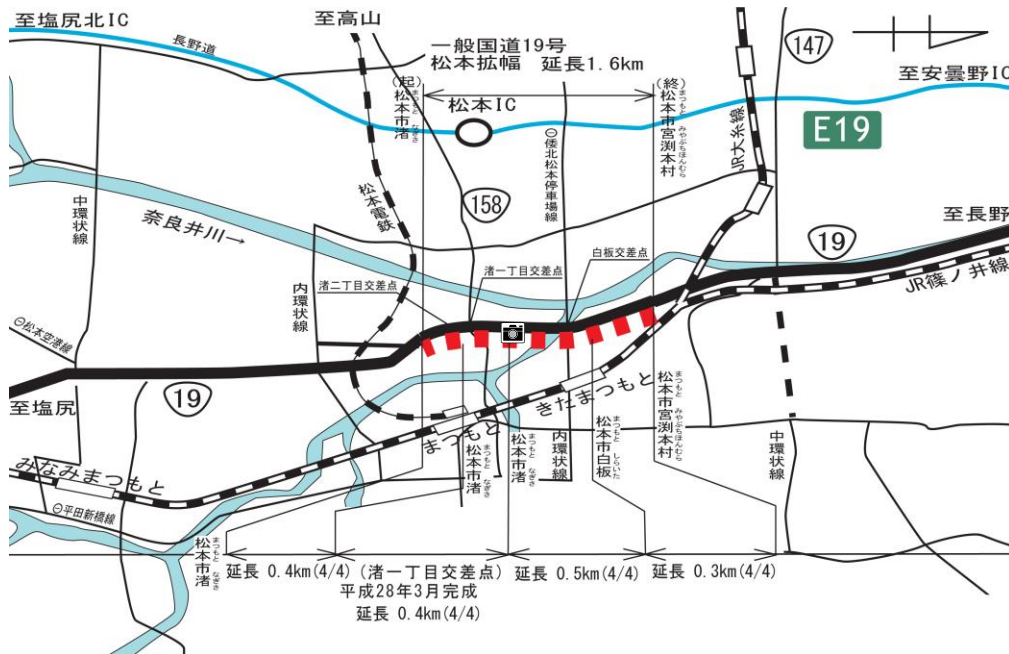
このうち渚一丁目交差点付近の延長0.4kmが平成28年3月に完成済です。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計及び用地買収を実施するとともに、落合橋他下部工事に着手する予定です。



国道19号白板交差点付近の渋滞状況



事業の効果

○国道19号の拡幅により交通の円滑化が図られ、交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。

○第三次救急医療施設である、信州大学医学部附属病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

国道19号 ^{ながの}長野19号防災

R4年度事業費:5.85億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道19号^{ながの}長野19号防災は、国道19号の防災危険箇所の回避や法面对策、線形不良及び狭小幅員の解消を目的とした、東筑摩郡生坂村竹の本から^{ひがしちくま}長野市^{いづさか}小市^{たけもと}までの延長約40kmの防災事業です。

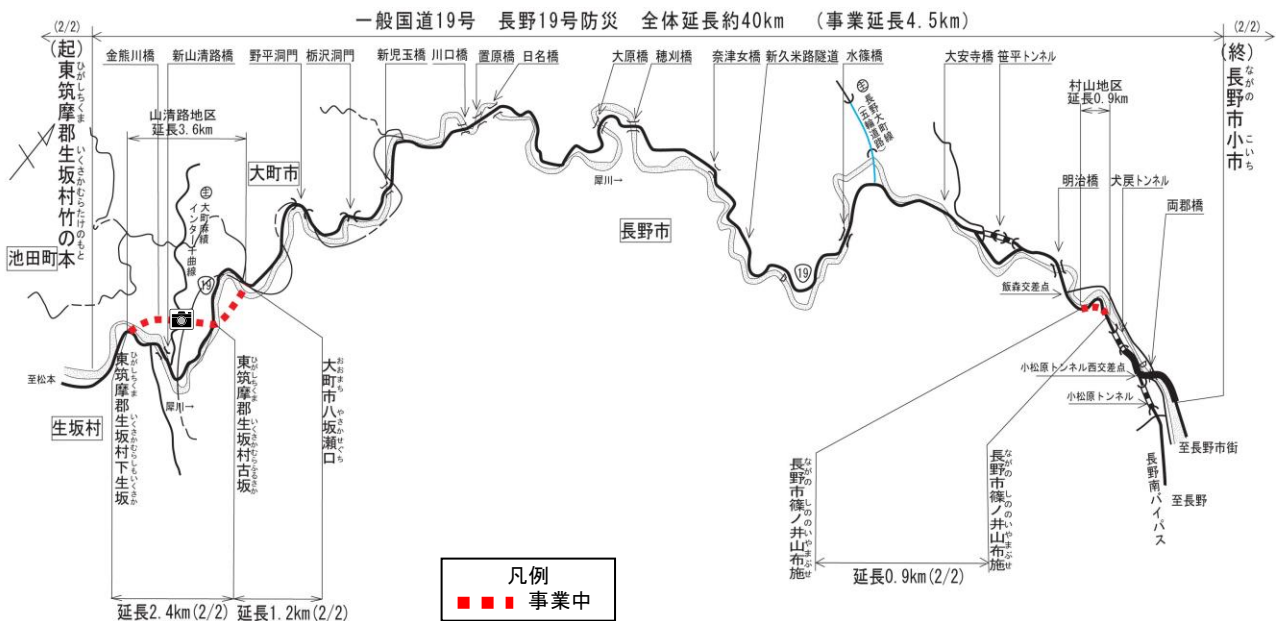
このうち^{さんせいじ}山清路地区^{ひがしちくま}（東筑摩郡生坂村下生坂から^{いづさか}大町市^{しもいづさか}八坂瀬口間^{おおまち} 延長3.6km）及び^{むらやま}村山地区^{ながの}（長野市篠ノ井^{しのの}山布施^{いやまがせ}地先 延長0.9km）の延長4.5kmを事業中です。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計、改良工事及びトンネル工事を実施するとともに、^{さんせいじ}山清路2号トンネル工事に着手する予定です。



^{さんせいじ}山清路1号トンネルの工事状況



事業の効果

○豪雨等、異常気象時等における災害を防ぎ、安全性の向上や災害時の孤立集落の解消が期待されます。

○第三次救急医療施設である^{ながの}長野赤十字病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

国道20号 坂室バイパス

R4年度事業費:1.62億円
【長野県】直轄

事業の概要

国道20号坂室バイパスは、茅野市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、茅野市金沢から同市宮川までの延長3.7kmのバイパス事業です。

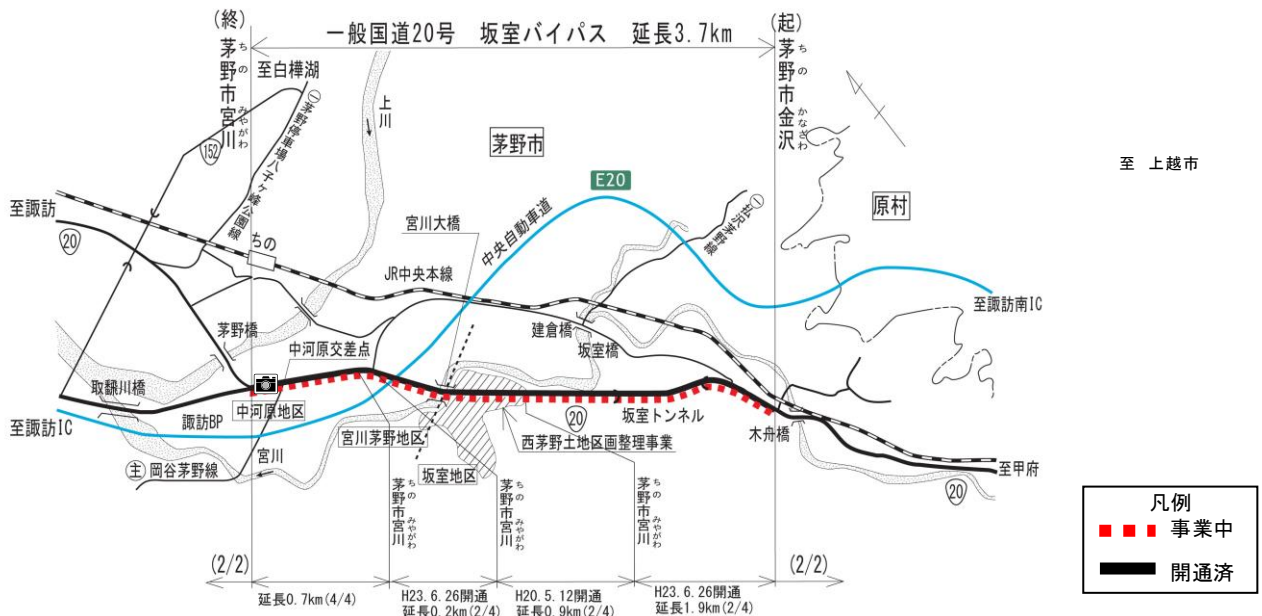
このうち、茅野市金沢から同市宮川までの延長3.0kmについて平成23年6月までに開通済で、現在は茅野市宮川の0.7kmにおいて現道拡幅を推進しています。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計、用地買収及び環境整備を実施する予定です。



国道20号中河原交差点の渋滞状況



事業の効果

○旧国道20号からの交通転換が図られ、交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。

○第三次救急医療施設である、諏訪赤十字病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

国道20号 下諏訪岡谷バイパス

R4年度事業費: 22.39億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道20号下諏訪岡谷バイパスは、諏訪郡下諏訪町及び岡谷市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、諏訪郡下諏訪町東町から岡谷市今井までの延長5.4kmのバイパス事業です。

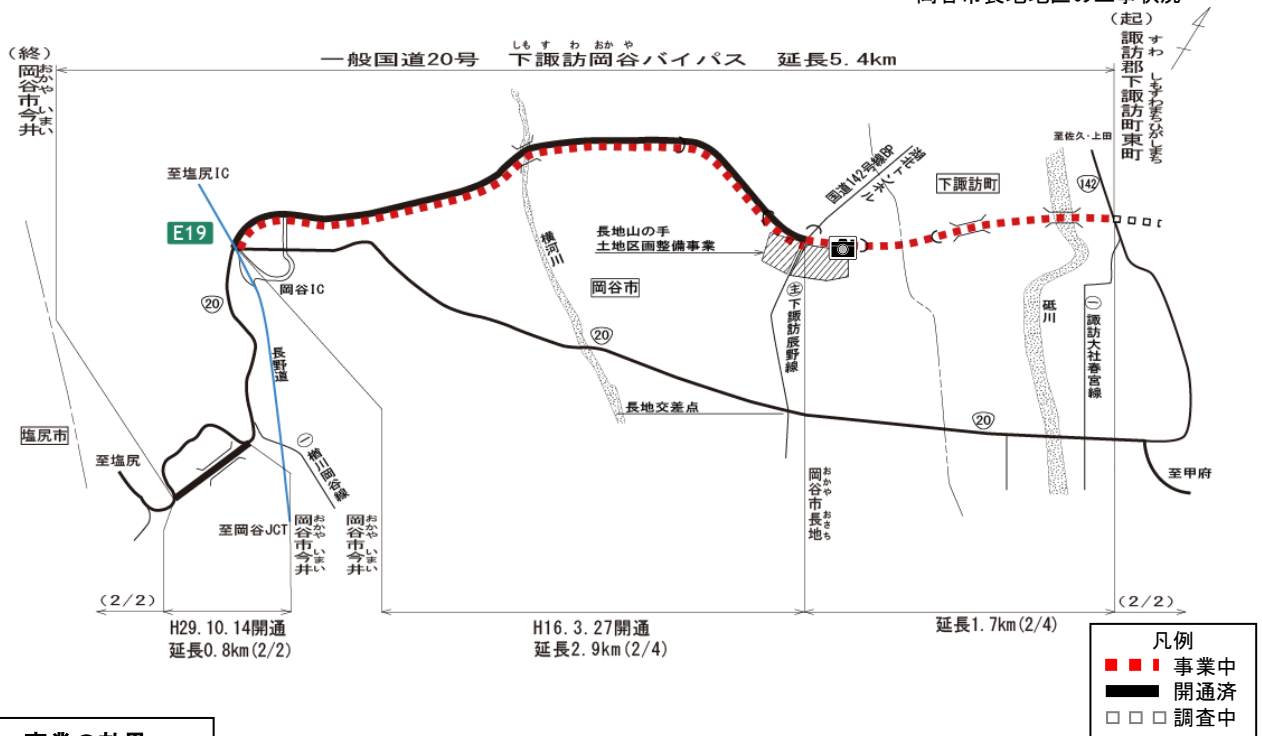
このうち、岡谷市長地から同市今井までの延長3.7kmについて平成29年10月までに開通済です。

令和4年度予定

○令和4年度は、調査設計、用地買収及びトンネル工事を実施するとともに、東町地区橋梁下部工事に着手する予定です。



岡谷市長地地区の工事状況



事業の効果

○国道20号（現道）から交通転換が図られ、交通渋滞の緩和や渋滞による死傷事故数の減少が期待されます。

○第三次救急医療施設である、諏訪市中心部にある諏訪赤十字病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

ながわど

【長野県】直轄

事業の概要

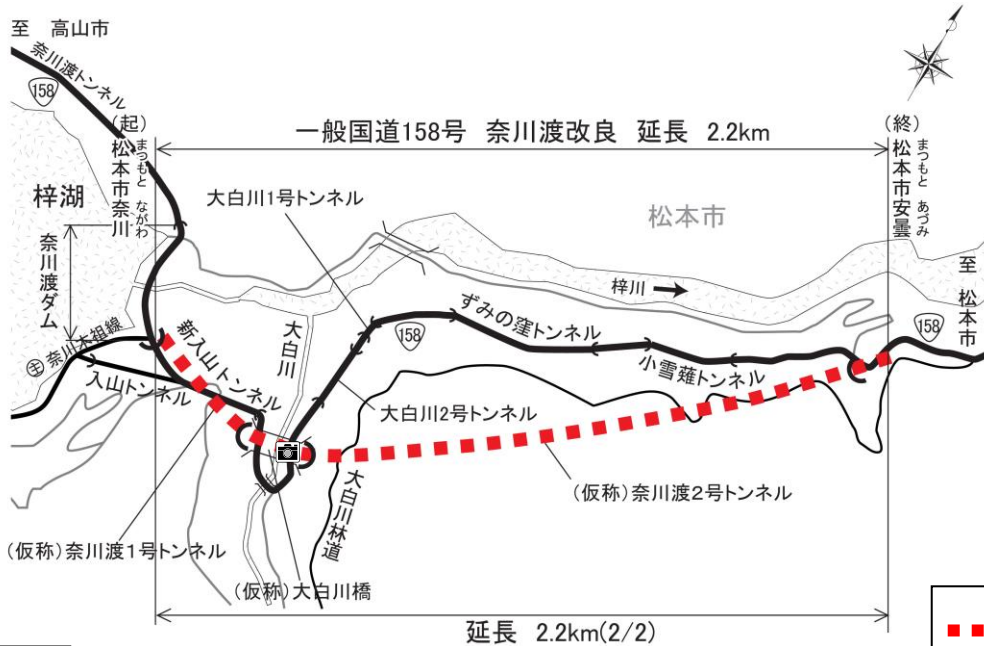
ながわど

令和4年度予定

○令和４年度は、調査設計、改良工事、舗装工事を実施するとともに、奈川渡１号トンネル工事に着手する予定です。



橋梁上部工事の施工状況



事業の効果

- 大型車同士のすれ違いが困難である現トンネルに対し、新トンネル整備後は幅員が広がり、すれ違い困難箇所が解消され、交通の安全性の向上が図られます。
- 第三次救急医療施設である、信州大学医学部附属病院へのアクセスルート強化し、救急搬送ネットワークを構築します。
- 松本市西部地域周辺の多くの温泉地、上高地等の国内有数の観光資源地へのアクセス向上が図られます。

国道18号 かるいざわ おいわけ 軽井沢町追分歩道整備

R4年度事業費：1.78億円

【長野県】直轄

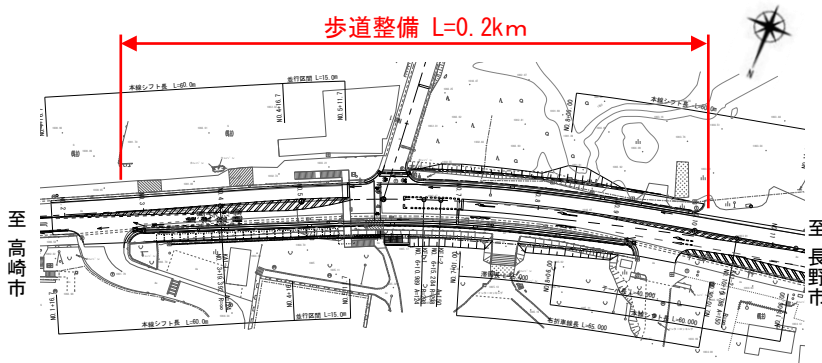
事業の概要

当該箇所は、下り線の歩道が未設置となっており、通学する児童、観光利用の歩行者等が交通量の多い車道脇を通行するなど、危険な状況であり、安全対策が急務となっています。

このため、延長約0.2kmの区間において、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間を確保するため、通学路・生活道路としての歩道を整備しています。

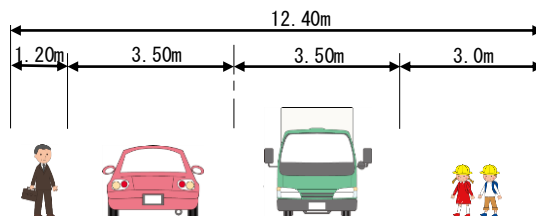
令和4年度予定

○早期整備に向けて、調査設計、支障物移設及び歩道整備工事を推進します。

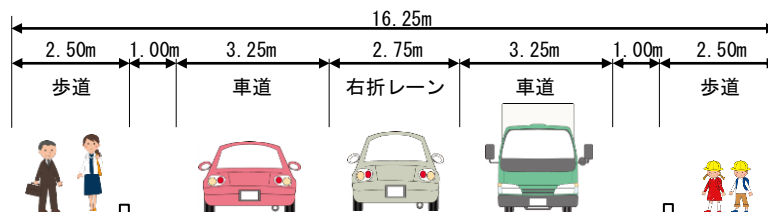


かるいざわ まち おいわけ
国道18号軽井沢町追分付近の状況

現況



計画



事業の効果

○安全・安心に通行できる通行空間を整備することで、自動車との接触による事故が低減し、歩行者・自転車等の安全性の向上が期待されます。

国道19号 あづみの あかしな 安曇野市明科駅前歩道整備

R4年度事業費：6.66億円

【長野県】直轄

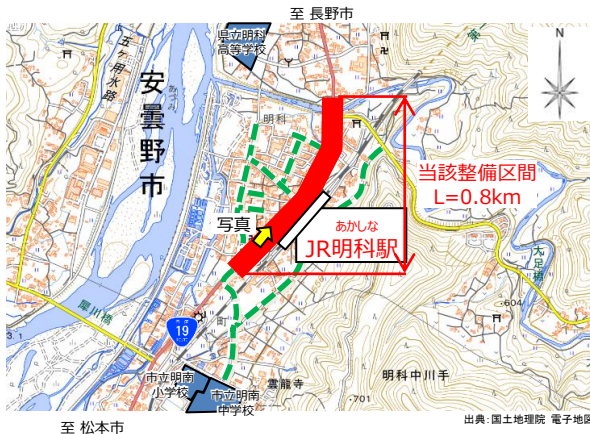
事業の概要

当該箇所は、整備区間内にJR明科駅^{あかしな}が立地していますが、歩道が未設置となっていることから、沿道商店の利用者や通勤通学の歩行者・自転車等がすれ違う際に、車道にはみ出して通行しており、安全が確保されていない状況です。

このため、延長約0.8kmの区間において、既存道路の拡幅により、上下線に歩道と自転車通行空間を整備しています。

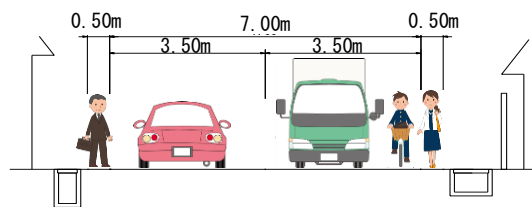
令和4年度予定

○早期整備に向けて、調査設計、用地買収及び歩道整備工事を推進します。

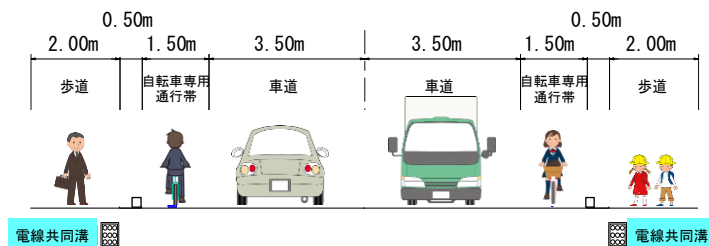


あかしな
国道19号明科駅付近の状況

現況



計画



事業の効果

○安全・安心に通行できる通行空間を整備することで、自動車との接触による事故が低減し、歩行者・自転車等の安全性の向上が期待されます。

しもすわ ふじみばし
国道20号 下諏訪町富士見橋歩道整備

R4年度事業費：1.78億円

【長野県】直轄

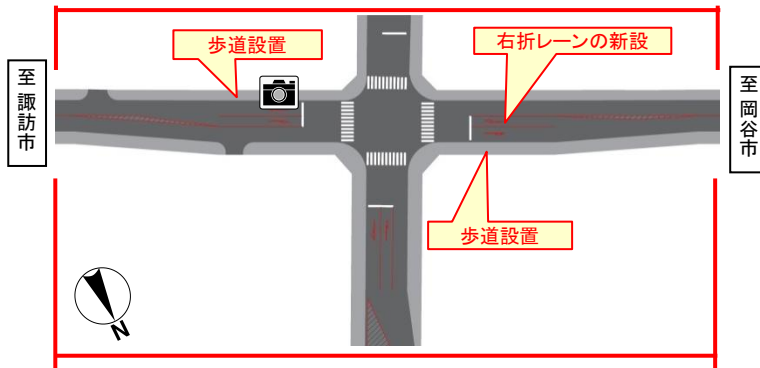
事業の概要

当該箇所は、設置されている歩道の幅員が狭小なため、非常に危険な状況となっています。
また、^{にしおおじぐち}西大路口交差点は右折レーンが設置されていないことから、渋滞による追突事故が多発しています。

このため、生活道路としての歩行経路を整備し、歩行者の安全・安心な通行空間を確保するとともに、交差点に右折レーンの設置を行い、事故の抑止を図ります。

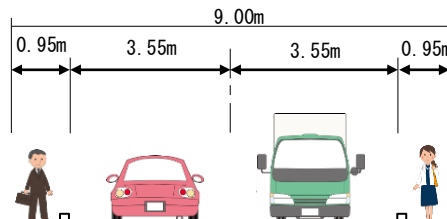
令和4年度予定

○早期整備に向けて、調査設計、支障物移設及び歩道整備工事を推進します。

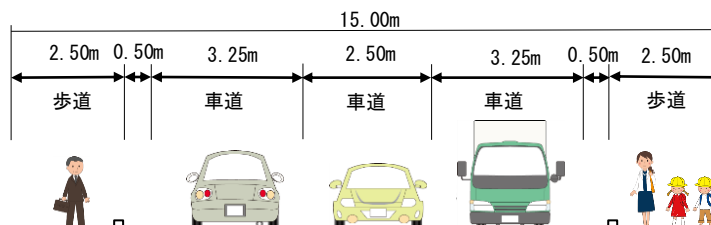


にしおおじぐち
国道20号西大路口交差点付近の状況

現況



計画



事業の効果

- 交差点を改良することで、追突事故の減少が期待されます。
- 歩道を拡幅することで、歩行者の安全性及び快適性の向上が期待されます。

国道18号 青木島町電線共同溝

令和4年度新規事業

R4年度事業費：0.5億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道18号青木島町電線共同溝は、長野市青木島町における延長2.7kmの電線共同溝整備事業です。

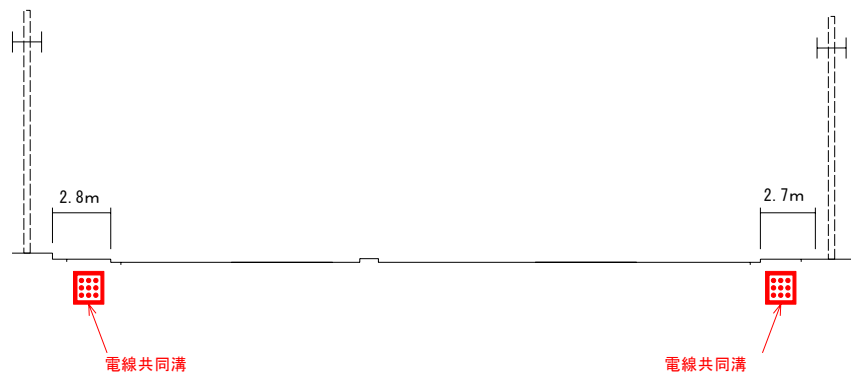
令和4年度予定

○早期整備に向けて、調査設計を推進します。



国道18号大塚交差点付近の状況

計画



事業の効果

○無電柱化することで、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

維持管理(日常管理)

道路維持

長野国道事務所では国道18号、19号、20号、中部横断自動車道の4路線、延長約303kmを管理しております。

維持管理では、道路を安全で安心して利用していただくため、巡回、除草、路面補修などを実施しており、年間を通じた維持管理の状況を把握し、維持管理コスト縮減の工夫に努めております。



道路巡回
(落下物回収)



除草



路面補修

道路除雪

円滑な道路交通の確保に向けて高速道路会社、長野県、各市町村、建設業協会、警察等と連携を強化するとともに、道路利用者に向け、チェーン指導を行う他、道路情報板、SNS等を用いた啓発活動や情報提供を行います。



除雪状況



チェーン指導の状況

維持管理(老朽化対策)

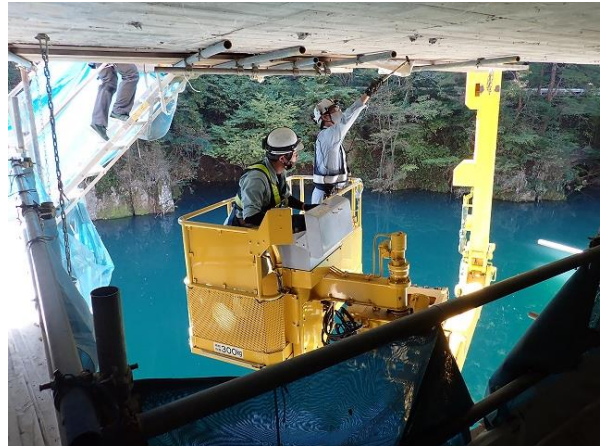
長寿命化対策

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁等を定期的に点検して、劣化や損傷が生じた個所を補修し、長寿命化を図ると共に、第三者被害に対するさらなる安全性の確保のための橋梁補修を実施します。

【橋梁点検車における橋梁点検事例】



点検状況(遠景)



点検状況(近景)

【国道19号 穂刈橋における橋梁腐食状況】



橋梁状況(全景)



橋梁下部支持材腐食状況(近景)

国道19号 長野市信州新町水内地先の路面沈下対策

事業の概要

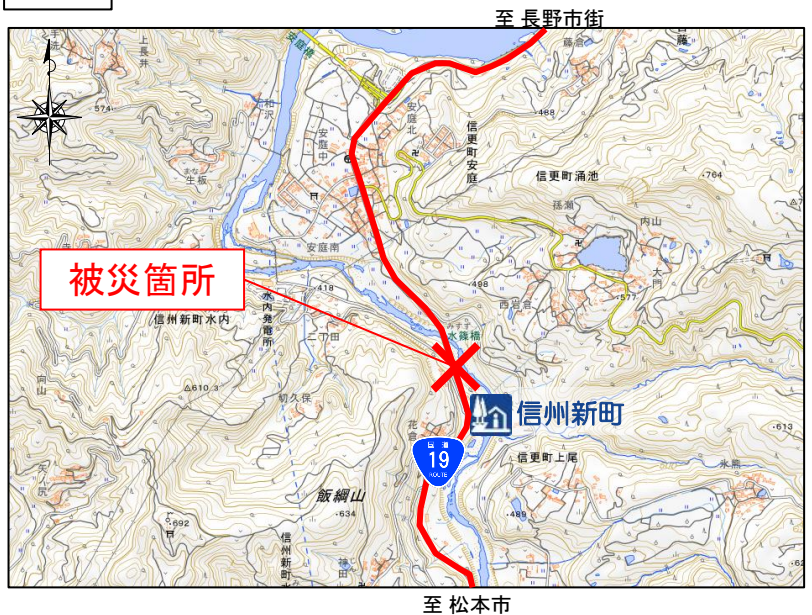
令和3年2月に国道19号長野市信州新町水内地先において、路面沈下が発生しており、早期復旧が急務となっています。

学識者、有識者等から構成される第三者機関を設置し、中立性・公平性や実情に配慮した客観的な立場で助言を頂きながら、道路の早期復旧に向けて、工事を推進します。

位置図



広域図



被災状況



路面沈下の発生状況(令和3年2月)

復旧状況



復旧工事の実施状況(令和4年4月)

令和4年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。

主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

山梨県・長野県

中部横断自動車道 ちゅうぶ 長坂～八千穂 ながさか やちほ

長野県

国道20号 すわ 諏訪バイパス

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜道路調査の流れ＞

